

# 地方都市視察報告書

文教子ども家庭委員会

1 実施日 令和7年11月6日(木)

2 視察地 大阪府泉大津市

## 【市の概要】

(1) 面積 13.73km<sup>2</sup>

(2) 人口・世帯数

(令和7年12月1日現在)

○人口 72,400人

○世帯数 36,037世帯



(3) 大阪府の泉州地域に位置する泉大津市は、大阪湾に面した平坦地形が特徴である。北は高石市・和泉市、南は大津川を挟んで忠岡町と接している。交通利便性が高く、南海本線の泉大津・北助松・松ノ浜の3駅や高速道路出入り口を備え、大阪市内へ約20分から30分でアクセスすることができる。

近年は、港湾都市としての側面も強く、堺泉北港の中心として物流・産業の拠点となっている。特に「泉大津フェリーターミナル」からは九州(新門司)への大型フェリーが発着し、関西の海の玄関口として機能している。

また、江戸時代から続く和泉木綿を背景に発展した「日本一の毛布のまち」で、現在も国産毛布の約9割のシェアを誇る繊維産業の集積地である。

市民の憩いの場である「シーパスパーク」などの公園整備が進むほか、臨海部の「テクスピア大阪」では産業の歴史にふれることができる。

現在は、スマートシティ化や独自の健康増進政策を積極的に推進しており、コンパクトな市域を活かした住み心地のよい街づくりが注目されている。古からの伝統産業と、先進的な行政の取り組みが共存する活気ある都市である。

3 視察項目・内容

市立図書館シープラの取り組みについて

4 視察参加者

## 【委員】

木もとひろゆき委員長

近藤なつ子副委員長

井下田栄一委員

青木仁美委員

山口かおる委員

伊藤陽平委員

渡辺やすし委員

おやまだ静香委員

## 【随行】

議会事務局議事係 2名

## 5 視察結果・所感

泉大津市の図書館「SHEEPLA（シープラ）」は、図書館機能を核としながら、子育て支援、学習支援、市民交流を一体的に行う複合施設として整備されており、「本を借りる場所」「読書をする場所」という、これまでの図書館の概念とは違うスタイルが確立されていた。

施設は開放的な空間設計となっており、年齢や目的に応じてスペースが分けられる工夫がされている。特に子ども向けエリアでは、靴を脱いで過ごせるスペースや絵本を中心とした配置がなされ、乳幼児連れの保護者が安心して利用できる環境が整えられていた。また、学習スペースのコーナーも充実しており、子どもから若者までが自然に集い、滞在できる居場所として機能している点は印象的であった。

運営面においては、単なる貸出業務にとどまらず、読書活動の推進、探究学習の支援、地域課題をテーマにした企画展示やイベントの実施など、能動的な図書館運営がされていた。

区としては今後、牛込第一中学校に隣接する中町図書館の建設が計画されているので、参考としたい。

## 6 主な質疑項目

- (1) 図書館利用者数の推移について
- (2) 官民連携の取組について
- (3) 商業施設内に図書館を設置したメリット・デメリットについて
- (4) 図書館運営における子どもの意見の反映について
- (5) 子どもが主体的に図書館に楽しむための具体的な仕掛け（空間設計・イベント等）の工夫について
- (6) 「あまり本を読まない子ども」へのヒアリングを行う仕組みや、意見を運営に反映させる体制について
- (7) 居心地をよくするための取組（例：植物の貸し出し・ちょい寝枕）について

## 7 その他

### 【共同視察者】

教育委員会事務局中央図書館長

